

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動に関 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように感じたか?)	旧資料No			
269	B05000875	72	年	男性	譫妄	2005/2/9 2005/2/9 2/10~2/12	12:20 21:00 1日2回	2005/2/9	21:05	×	No	—	9分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	2005/2/9 (12:20)39°Cの発熱で来院。インフルエンザ抗原(+)B。当院にて本剤1cap服用し帰宅。(20:00頃)夕方までに解熱。普通に夕食摂取。(21:00前後)夕食後自室へ戻り本剤服用。常用薬の眠剤は服用。その後5~10分で天井が回り出し、明未明まで記憶がはっきりしない。 2005/02/10 (9:22)家族から電話。部屋をひっきり回したように荒らしてある。ストロブ転倒しベッドに灯油がまいてある。本人は灯油を右腕に浴びている。顔面の打撲あり。解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄は回復。 2005/02/11 タミフルは夕方の投与で中止。	異-1-27	
270	B05024268	74	年	不明	①異常行動 ②大腿骨折 ③幻覚	2006/2/8~ 2/10	朝・夕	2/10 2/11~12	朝 夜間~未明	×	No	—	No	No	解熱過程	No	No	No	No	No	2006/2/8 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2/日投与開始。異常行動発現。 2006/2/10 (朝)幻覚発現(重篤度不明)し、継続。インフルエンザ軽快。 2006/2/11 夜間から未明にかけ徘徊し、家族がさがしたが結果的にバトカーで確保された。 2006/2/12 家族がうたた寝したすきに、2階より飛び降りて大腿骨折。(Dr:寝ていないのではないか。)現在治療のため入院中。	異-1-56	
271	B02013397	79	年	女性	①落ち着きのなさ ②妄想	2003/1/2~1/6	1日2回	2003/1/4	1:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	抑うつ神経症	2002/3 この頃、被害妄想顕性化し他院通院。 2002/7/24 同院に入院し加療。抑うつ神経症の診断。 2002/12/9 状態が安定化したため、当院に入院。レボミン10mg/日、パキシル30mg/日投与開始。 2003/1/2 (0:20)体温39.0°C、倦怠感。(6:00)体温38.1°C、倦怠感、関節痛。上気道症状(鼻水、咽頭痛、咳等)は認めず。インフルエンザの診断検査実施しなかったが、インフルエンザ感染を疑いタミフル2カプセル分2を5日分処方。 (20:00)体温37.1°C、倦怠感、関節痛。 2003/1/3 (20:00)体温37.2°C、倦怠感、関節痛。かぜ症状は認めず。 2003/1/4 (1:00)電気をつけ、窓をあけゴソゴソしている。意味不明語、妄想、不穏あり。体温37.2°C、倦怠感、背部痛、股関節痛あり。その後も同様の状態がつづき徘徊して目が離せなくなる。タミフルは継続。(13:20)デパス0.5mg3錠/日(分3)投与開始。少しずつ精神状態安定化。 2003/1/6 デパス2錠/日に減量。タミフル投与終了。 2003/1/8 症状軽快。	異-1-5	
272	B06016893	83	年	男性	譫妄	2006/1/9 2006/1/9 2006/1/10 2006/1/10 2006/1/11	朝 晩 朝 晩 朝	2006/1/10	10:00	×	No	—	34時間	No	発現時のみ 微熱あり	—	—	—	—	—	—	落ち着きがない。やや興奮気味。「これはいや。帰るからいらん」と顔面紅潮させる。点滴ルートやチューブでぐるぐる巻きになっていた。「もういらんね、別にもう結構です」と何を言っているか分からない。不穏状態続く。ゼイゼイしながら、熱い熱いと服を脱いでいた。病棟内をうろろ。隣の患者のベッドに乗り込み、何かがあると、とても怖がる様子。看護士がなだめるも、ほっといてとのこと。病棟をうろろし、他の患者のところに居座る。杖を振り回す。起きるとすぐに意味不明発語あり。徘徊	異-1-88
273	B06025119	83	年	男性	異常行動	2007//2/7	朝	2007/2/7	12:00	×	No	—	—	—	解熱過程	Yes	No	No	No	No	2007/2/5 インフルエンザと診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(2~2/6)。 2007/2/6 (20~21:00)就寝。 2007/2/7 (朝)タミフル減量(75mg×1/日)。(昼前迄)寝床にいた。睡眠不足はなし。車の運転が大好きで当日、奥さん(入院中だった)の病院へ自分で車を運転して行くつもりだったが、インフルエンザにかかり、高熱が出ていた(当日は熱はなかった)こともあり、家の人に運転を止められ腹を立て、朝家をとび出し、軽トラが何かで家の周りを、数週まわっていたらしい。(12:00頃)異常行動出現。除草剤(バスタ)を飲んだ。(18:30)嘔吐といれれん出現。家人に問い詰められて、除草剤を服用したことを自白し、ポケットに除草剤のラベルを入れて持っていた。(18:45)意識消失。(19:00)救急車で他院へ搬送され、治療を受けた。入院。後遺症なし。入院後下痢が長く続いたため、体力消耗し、そのためいつもの状態に戻るのに日数を要した。インフルエンザ軽快・回復。 2007/2/26 回復。 2007/2/28 退院。	異-1-107	
274	B03008735	85	年	女性	全健忘	2003/12/26 ~12/28	1日2回	2003/12/29	1:00	—	—	—	14時間	No	解熱後	No	No	—	No	No	2003/12/26朝 悪寒戦慄、体温40°C、救急車で当院受診。上咽頭粘膜のインフルエンザ抗原陽性、脱水、低酸素血症あり。タミフル(150mg/日)、O2、補液開始。 2003/12/28午後 平熱になった。 2003/12/29 (1:00)入院したことを忘れており、失見当識、病棟内徘徊、ミオクローヌスなし。(9:00)頭部CT正常。記憶力低下(3分前のことを覚えてない)がつづく。主治医を見て「アンタ、タヌキに似てるな。バカしてんじゃないか?」と話す。(14:00)患者の息子と話し合い、インフルエンザが治ったこと。一過性全健忘で治ると思われることを根拠に自宅へ退院。(16:00)前日までの記憶が戻り、29日未明~退院までの記憶が欠如。入院したことを忘れており、失見当識、病棟内徘徊。記憶力低下(3分前のことを覚えてない)がつづく。主治医を見て「アンタ、タヌキに似てるな、バカしてんじゃないか?」と話す。	異-1-7	
275	B05024865	85	年	男性	譫妄	2006/2/3 ~2/5	1日2回	①2006/2/5 ②2006/2/6 ③2006/2/7	①夕方 ②朝 ③1:30	—	—	—	—	Yes	解熱過程	No	No	No	No 失明患者	Yes	①興奮気味で意味不明なことを話す(眼が見えるようになった等)。 ②相手が誰か、今どこにいるか、質問してもわからない。 ③子供の声が聞こえ、窓を開けて外に出た。小さなタンク等を押しのけて出た。	異-1-64	
276	B04027261	90	年	女性	譫妄	2005/3/10 3/11~3/13 3/14	15:00 1日2回 1日1回	2005/3/12	18:00	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1994頃 慢性腎不全、慢性心不全、甲状腺機能低下症発症。 2005/03/09 咳、痰、発熱あり。 2005/03/10 (15:00)外来受診。インフルエンザB陽性。肺炎と心不全、腎不全増悪あり。入院予定であったが、空床が無く、外来でロセフィン点滴と本剤、ムコトロン、咳水の処方を行い一旦帰宅。 2005/03/11 (11:20)入院。本剤、ロセフィン、感冒薬継続。 2005/03/12 (18:00)点滴抜針。せん妄発現。 2005/03/13 (0:40)意味不明の言動。(19:00)拒薬、興奮、職員への暴力。 (20:50)セレネース1A im。 2005/03/14 (15:00)覚醒度不良。意味不明の言動、興奮は消失。夕方より、本剤投与中止。 2005/03/15 上記の行動消失も日中傾眠。夜間は良眠。 2005/03/18 ロセフィン投与中止。 2005/03/19 (15:00)つじつまの合わない発語が時々。 2005/03/20 (15:00)せん妄軽快。以前の状態へ回復。	異-1-22	